

6

札幌市の水道料金は どのくらいの水準なの？

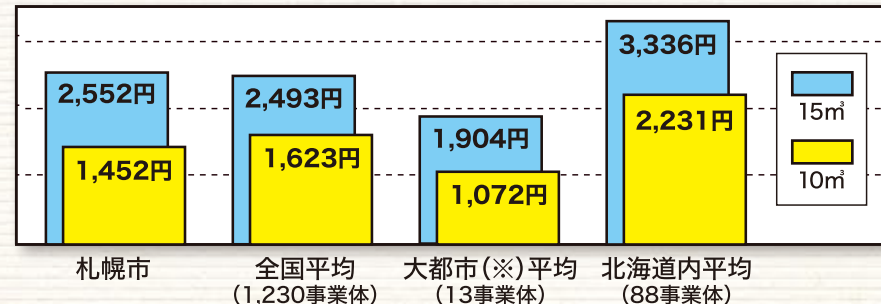
全国平均とほぼ同じ水準となっています

一般的な家庭用の1か月の料金で比べると、札幌市の料金水準は全国平均とほぼ同水準となっています。

また、北海道内の平均と比べると低くなっていますが、大都市の平均と比べると高くなっています。

一般的な家庭用 水量別 1か月あたりの水道料金(税込、消費税10%)

令和6年4月1日現在



(※)大都市＝東京都＋計画給水人口が100万人以上の政令指定都市

参考 市町村ごとに水道料金が異なる理由

日本の水道事業は、水道法において、原則として市町村が運営することと定められています。

それぞれの市町村ごとに事業運営の背景(歴史・人口・産業構造・水源・地理的条件など)に違いがあるため、事業運営に必要な経費についても異なります。そのため、市町村ごとの水道料金にも差が生じています。

札幌市水道事業は、他の大都市と比べると歴史が浅く、施設整備を集中的に行った時期も遅くなっています。そのため現在でも減価償却費が高くなっており、施設整備に要した借入金の残高も多く、その金利負担も重いことから、他の大都市に比べ料金の水準も高くなっています。
(12ページ「長期的な視点で事業運営に取り組んでいきます」をあわせてご覧ください。)



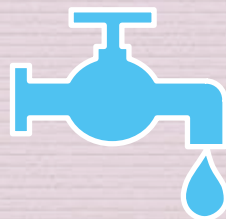
コラム

水道水は経済的で環境にやさしい飲み物です

札幌市内で販売されている2リットル入りミネラルウォーターの平均価格は、112円(※1)となっています。これを、1リットルあたりで計算すると、約56円になります。
(※1 令和5年小売物価統計調査(総務省統計局))

一方、札幌市における1世帯1か月あたりの平均的な使用水量は、12m³(※2)となっています。この場合の水道料金1,892円(税込、消費税10%)を、1リットルあたりで計算すると、約0.16円になります。
(※2 令和5年度 札幌市水道事業会計決算)

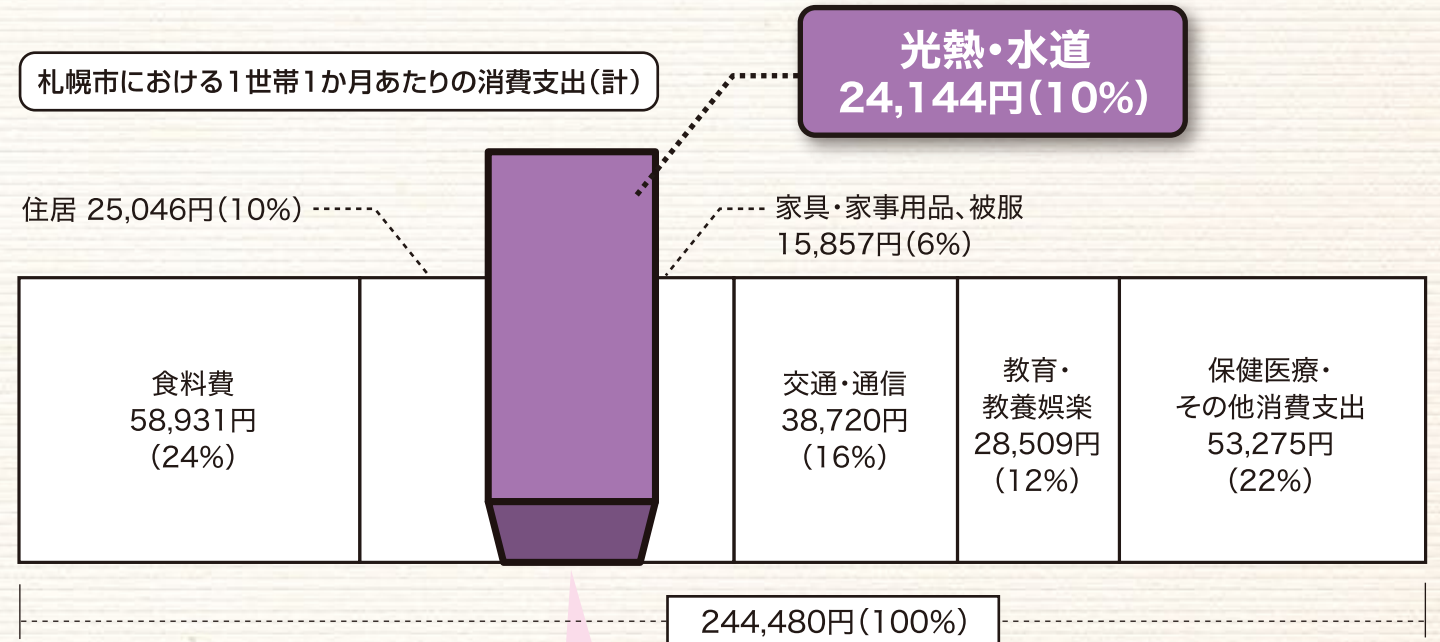
水道水は、とても経済的な飲み物です。また、飲んだ後でもごみを出さない、環境にやさしい飲み物です。



家計における支出額は他の公共料金より低くなっています

国の統計調査(※)によると、札幌市における1世帯あたりの光熱・水道にかかる支出額のうち、上下水道料が占める割合は、電気代やガス代に比べて低くなっています。

(※令和5年 家計調査(総務省統計局))

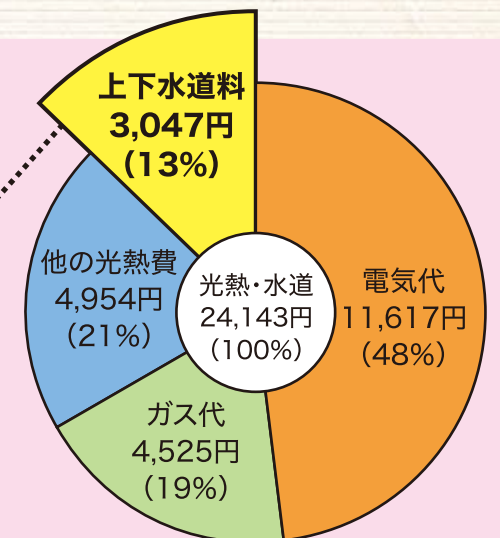


※令和5年 家計調査(総務省統計局)

※四捨五入のため、計算が一致しない場合があります。

1か月の上下水道料3,047円は、約13m³分の使用料金とほぼ同額です。

なお、実際に1か月13m³使用した場合の水道料金は2,112円、下水道使用料は881円となり、合計は2,993円です。
※金額は全て税込



水道料金の減免制度について

水道事業においては、「家事の用」などの生活用の水道料金を低く抑えていることや、使用した水の量に応じて料金をいただくという負担公平性の観点から、料金の減免措置は行っておりません。

なお、札幌市の福祉関連部局では、生活にお困りの方々を支援するさまざまな施策を展開しています。

